



# この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2023年10月29日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

## 秋葉原・ミルクスタンドが見た70年 29日(日)=1、3面

東京・秋葉原駅の総武線ホームにミルクスタンドがあります＝写真。通勤客らに70年にわたって愛されてきました。店名は「酪」。電車を待つ間に飲む人が多いため、店員の動きに無駄がありません。お客もぐいっと飲み干して目的地へ急ぎます。そんな店先でのシーンを何度も目にしてきた記者は、人気の秘密を知りたくなりました。もちろん、注文から短時間で牛乳が飲めるといったメリットはあるのでしょうか。「味」の良さも大きいのですが、取材

を続けると別の理由があることが分かりました。最近ではめっきり見掛けることが少なくなったミルクスタンドですが、戦後から高度成長期にかけては都市部を中心に大ブームとなりました。しかし、自動販売機やコンビニエンスストアが普及するにつれ、ミルクスタンドは姿を消していったのです。秋葉原駅で生き続け、大勢のファンがいる「酪」にはどんな秘密があるのでしょうか。その戦略や経営者の思いに迫ります。



迫る

## 神への挑戦・人工知能の光と影 30日(月)=1、3面

人知の向かう先には、どのような未来が待っているのでしょうか。毎日新聞は半世紀前から、科学技術の発展がもたらす光と影を追う長期企画「神への挑戦」を連載してきました。第1部のテーマは、

チャットGPTの普及などで発展が目覚ましいAI（人工知能）です。初回は「パンデミックを起こすウイルスを生成せよ」と指示されたAIが、どのような答えを出したのかを取り上げます。



ハマス戦闘員に放火された住宅リイ  
スラエル南部クファルアザ



## 論点 ガザ衝突 なぜ起きたのか

パレスチナ自治区ガザ地区を支配するイスラム組織ハマスとイスラエルの戦闘が続いています。ハマスはイスラエルによる大規模な報復攻撃が行われることが分かっているにも関わらず、なぜ越境攻撃を行ったのでしょうか。一方でイスラエルはなぜ、国際的な非難をものともせず、民間人も巻き添えにした報復を行うのでしょうか。パレスチナ・イスラエル問題の専門家2人が独自の視点を交えながら今後の展開も含めて語ります。

11月1日(水)オピニオン面

## 特集 ワイド 鈴木宗男氏 訪露の意図 31日(火)=夕刊2面



10月初めにロシアに緊急渡航した鈴木宗男参院議員＝写真＝は、日本維新の会に除名処分を決定され、自ら離党しました。大きな騒ぎとなりましたが、一体何のために訪露

したのでしょうか。ロシアに太いパイプがあると自負する鈴木氏は、議員外交でどんな成果をあげたのか。2時間にわたって、たっぷり主張を聞きました。



編集後記

毎日新聞社は10月31日、オンラインイベント「イスラエルとパレスチナ暴力の連鎖の背景に迫る」を開催します。歴史的経緯から紡がれた双方の「物語（ナラティブ）」。「イスラエルとパレスチナに関する多くの著書を持つ立山良司・防衛大学校名誉教授と、エルサレム支局長時代に暴力過激主義の実態を調査報道した大治朋子記者を中心に語りませひご参加ください。（長尾真央）」

